

研究所短報

報告

地域経済研究所では、2022年度後期に、以下の地域経済研究フォーラムを開催いたしました。地域経済から世界経済、公共政策や地域に関わる最新情報まで、引き続き幅広いテーマでフォーラムを開催していければと思いますので、ご愛顧いただけますと幸いです。

①「特別シンポジウム 創造時代（Society5.0）の仕事術」（2022年10月26日（水曜日））

第1部 基調講演 仕事の意味－「人的資源の成長」を基礎に－

講師 中沢 孝夫 氏（福井県立大学 名誉教授）

第2部 パネルディスカッション 仕事とは何か？－仕事観の過去・現在・未来を問う－

モデレーター 福田 布貴子 氏（フリーアナウンサー）

パネリスト 林 治克 氏（福井コンピュータホールディングス株式会社 元代表取締役社長）

パネリスト 南保 勝（福井県立大学地域経済研究所 所長・特任教授）

コメンテーター 中沢 孝夫 氏（福井県立大学 名誉教授）

②「ウイズコロナの下における人口の課題を考える」（2022年10月7日（金曜日））

講演1「新型コロナウイルス感染拡大に伴う国内人口移動傾向の変化の特徴」

小池 司朗 氏（国立社会保障・人口問題研究所 人口構造研究部長）

講演2「わが国の地域人口変動に及ぼす外国人人口のインパクト」

佐々井 司（福井県立大学 地域経済研究所 教授）

コメント 鎌倉 夏来 氏（東京大学 地域未来社会連携研究機構 准教授）

討論司会 松原 宏（福井県立大学 地域経済研究所 特命教授）

③「新冷戦で変わる世界経済」（2022年11月22日（火曜日））

中島 精也 氏（福井県立大学 客員教授、丹羽連絡事務所 チーフエコノミスト）

『ふくい地域経済研究』編集要綱

ふくい地域経済研究編集委員会

(趣旨)

- 1 広く経済・社会・産業分野で、福井県についての研究、もしくは福井県に有益な研究を促進するため、『ふくい地域経済研究』（以下『研究』とする）を発行する。

(編集委員会、編集権)

- 2 『研究』の編集委員会は地域経済研究所、経済学部、大学院経済・経営学研究科で選出された5名程度の委員で構成され、地域経済研究所長を委員長とする。編集委員長は編集委員会を代表、統括、召集する。
- 3 編集委員の任期は2年とする。ただし、任期の更新を妨げない。
- 4 『研究』の編集については、編集委員会がすべての権限と責任を持つ。

(発行回数、締切日)

- 5 年2回発行とし、発行日は、9月30日、3月31日とする。原稿提出締切日は、5月1日、12月1日とする。

(分載、合併)

- 6 1号に掲載予定の論文等が多数の場合は一部の論文等につき分載とすることがある。また、1号に掲載予定の投稿論文等が少数の場合は発行を見送り、次号以降との合併号とすることがある。

(投稿者の資格)

- 7 次の要件を満たす者。
 - 1) 本学地域経済研究所に所属する者。
 - 2) 本学経済学部、大学院経済・経営学研究科に所属する者。
 - 3) 地域経済研究所の主催または共催で招聘した者で、1)の推薦のあった者。
 - 4) 本学大学院経済・経営学研究科博士後期課程に在籍し、かつ指導教授の推薦を受けた者。
 - 5) 編集委員が推薦する他大学・研究機関等の研究者や他機関の実務担当者。
 - 6) 編集委員会が本『研究』の編集上必要と判断し委嘱した者。
 - 7) その他、編集委員会が本『研究』の主旨に照らして適当と認めた者。

(投稿原稿の種類)

- 8 投稿原稿は、研究論文、グローバル・地域研究など（本『研究』の主旨に沿うと認められる内容のものに限る）とする。投稿原稿は未発表のものに限る。

(原稿の採否)

- 9 投稿原稿の採否は、審査委員の審査に基づいて編集委員会が決定する。審査委員は、編集委員会がその都度委嘱し、氏名は公表しない。

(投稿手続き)

- 10 投稿原稿の提出に際しては、氏名（邦語表記とローマ字表記）・所属・標題（邦文および英文）・目次・要約・類別（「研究論文」「グローバル・地域研究」）・原稿枚数（A4版20字×35行×2段で換算）を明記した投稿申込書を提出するものとする。ただし、投稿原稿の類別は、審査の結果にもとづく編集委員会の決定により変更を求めることがある。

(執筆要綱)

- 11 執筆要領は別途定める。

(抜刷)

- 12 投稿論文等1編につき、本誌5冊および抜刷50部を超える抜刷を希望する場合は、超過分につき実費を支払うものとする。（記念号の対象者については、本誌10冊を進呈することとし、それを超えて希望する場合は、超過分につき実費を支払うものとする。）

(電子化利用の許諾)

- 13 論文等の著者は原則として、当該論文の電子化利用を承諾するものとする。

(雑則)

- 14 その他『研究』の編集・執筆に関して必要な事項は、編集委員が定める。

(付記)

- 1 本要綱および執筆要領の改定にあたっては、本研究所教授会の承認を得なければならない。
2 本要綱は、2020年4月1日より実施する。

投稿論文執筆要領

ふくい地域経済研究編集委員会

■ 投稿規程 ■

投稿論文の種類は研究論文 (Article)、グローバル・地域研究 (Global Area Review) に分けられる。研究論文は、広く経済・社会・産業分野で、福井県についての研究、もしくは福井県に有益な著作 (日本語) であって、分析視点もしくは研究手法に何らかのオリジナルな成果を有し、執筆要領にしたがって執筆された、未発表のものとする。なお、投稿原稿の採否は、編集委員会が委嘱する審査委員の審査を経て編集委員会が決定する。

グローバル・地域研究は、福井県についての調査研究や政策提言、または、世界の諸情勢や調査研究を踏まえた福井県への示唆で、日本語によって書かれた著作であって、執筆要領にしたがって執筆された、未発表のものとする。なお、投稿原稿の採否は、編集委員会が決定する。

■ 執筆要領 ■

1. 原稿の作成

- 1) 本文はA 4 版白紙片面をたてに用いる。1 ページあたりの分量は20 (文字) × 35 行 × 2 段 (1,400 字) とする。刷り上りページは、研究論文で図表を含め20 ページ以内、地域研究で図表を含め15 ページ以内とする。
- 2) 論文には要約、キーワードをつける。要約は400 文字程度、キーワードは5 語 (句) 以内とする。

2. 原稿の提出

- 1) 原稿は原稿コピー 2 部およびFD またはCD を、所定の送付状を添えて編集委員会に提出する。

3. 原稿の送付状

- 1) 日本人などの著者名のローマ字表記では、INOUE Takashi のように姓を先にし、姓はすべて大文字で記す。

4. 本文

- 1) 表題は中央取りとする。
- 2) 章タイトルは左詰とする。章にはローマ数字+ピリオド「I., II., …」を用いる。
- 3) 節タイトル, 項タイトルは左詰とする。節には全角スペースを・ひとマスあけてからアラビア数字+ピリオド「1. 2. …」とする。項には「(1), (2), …」の番号をつける。
- 4) 注は本文のあとにまとめて記す。注番号に括弧はつけない。
- 5) 本文中の欧文文字, 数字はすべて半角とする。数字は熟語などの特別な場合を除き, アラビア数字を用いる。ただし大きい数字は「万, 億, 兆」などの漢字を使用してもよい。分数は $1/2$ とせず, $2分の1$ とする。
- 6) 年号は, 原則として西暦を用い, 必要に応じてその後に元号などを括弧に入れて併用できる例: 2005 (平成17) 年。
- 7) 句読点は, ピリオド<, >, カンマ<, >を用いる。
- 8) 図, 表は本文中に挿入する。図, 表それぞれに通し番号をつけ, 図1…, 表1…のような形で記載する。なお図, 表は印刷時に約86%に縮小されることを考慮し, 見やすさに注意すること。図, 表の資料, 出所は右寄せとする。

5. 参考文献の引用

- 1) 参考文献の引用は例に倣い, 著者の姓, 発表年を書く。
例: 佐藤 (1999) によれば…, 青木 (2001a) では…
…が指摘されている (佐藤1999)。Soja et al (2001) では…
- 2) 参考文献表は本文末尾に著者のアルファベット順, 年代順に並べる。同一著者の同一年の文献は, 引用順にa, b, c…を付して並べる。
例: 佐藤一郎 (1999) 「江の眼鏡産業の形成」『地域と経済』Vol.19, No.3.
青木太郎 (2001a) 『地域経済論』福井書房。

(2005年8月決定)

(2014年8月改定)

(2020年4月改定)

▽投稿論文の募集について

今後の投稿論文の募集・提出締め切り等は, 福井県立大学地域経済研究所のHP (<http://www.fpu.ac.jp/rirre/>) にてお知らせいたします。

ふくい地域経済研究投稿申込書

No. *	受付日	年	月	日*	研究論文, グローバル・地域研究	採・否*
論文名	和文					
	英文					
	氏名		所属		最終学歴	
例	福井 県太郎 FUKUI Kentarou		福井県立大学 大学院経済学研究科		福井県立大学 大学院	
執筆者						
連絡先	住所 (〒 -)				連絡者	
	TEL :		FAX :		E-mail :	
原稿	A4版 (20字×35行×2段) × 枚					
備考*						

□必要事項を記入の上、論文と一緒に地域経済研究所事務にお送りください。*印はこちらで記入いたしますので、何も記入しないでください。

編集後記

本号は、ふくい地域経済研究編集委員会の南保勝先生と池下譲治先生の最後となります特別号となりました。これまで36号まで続けてこれましたことに感謝を申し上げますとともに、引き続き、研究所の知が地域社会に少しでも貢献できるよう、研究成果の発信を続けていければと思います。

執筆者紹介

■研究論文■

「統計データからみた福井県における人口と産業構造の変化」

松原 宏（福井県立大学地域経済研究所特命教授）

「限界集落活性化にみる地域創生の視点と方法

—— 福井県越前町梨子ヶ平集落のケースを中心に ——」

杉山 友城（福井県立大学地域経済研究所准教授）

「ウェルビーイングの視点からの福井県の地域づくりの課題と可能性

—— 福井県県民アンケートの調査結果からの考察 ——」

高野 翔（福井県立大学地域経済研究所准教授）

「家族介護者支援の実態調査②福井県の介護支援専門員による家族介護者支援の内容」

成田 光江（福井県立大学看護福祉学部准教授）

「事業定義からみる価値づくり経営 —— 松浦機械製作所の事例から ——」

山口 光男（福井大学地域創生推進本部）

■グローバル・地域研究■

「ワ州基本法の研究 —中国法との比較を通じて—（9）投資法」

安田 峰俊（立命館大学人文科学研究所 客員研究員）

高橋 孝治（湾・淡江大学 日本政経研究所（台湾政府主催・台湾フェロウシップによる
招聘）

ふくい地域経済研究 編集委員会

委員長：南保 勝

編集委員：井上 武史（東洋大学経済学部教授）

池下 譲治

杉山 友城

高野 翔

ふくい地域経済研究 第36号

（令和5年3月24日発行）

編集発行所／福井県立大学地域経済研究所

発行責任 南保 勝

〒910-1195 福井県吉田郡永平寺町松岡兼定島4-1-1

T E L 0776 - 61 - 6000（内6104）

F A X 0776 - 61 - 6017

e-mail : keiken@fpu.ac.jp

印刷所／株式会社エクシート

〒919-0482 福井県坂井市春江町中庄61-32

T E L 0776 - 51 - 5678

F A X 0776 - 51 - 3413